

第13回 JCHOりつりん病院地域協議会 議事録

開催日 令和4年12月22日(木) 15時00分～16時25分

開催場所 JCHOりつりん病院 本館3階会議室

出席者 【院外】

溝口晶仁(高松市医師会)・横井徹(医療機関)・高本牧男(行政/高松市保健所)
柴田正紀(利用者/患者)

【院内】

大森院長・竹内外科部長(副院長代理)・森下循環器内科医長(副院長代理)
日下部事務長・三谷看護部長・田村事務長補佐(総務企画)

- 議題
1. あいさつ・メンバー紹介
 2. JCHOりつりん病院の紹介
 3. 地域協議会について
 4. 前回議事(第12回書面開催)について
 5. 概況報告
 6. 患者動向・経営状況について
 7. 院内クラスターについて
 8. その他 次回以降の開催日について

概要

1. あいさつ・メンバー紹介 (大森院長)

●外部委員の交代

虫本光徳(高松市医師会) → 溝口晶仁(高松市医師会)

宝山秀逸(利用者/患者) → 柴田正紀(利用者/患者)

●院内委員の代理出席

(副院長代理)竹内外科部長・森下循環器内科医長

2. JCHOりつりん病院の紹介 (大森院長)

●JCHOの成り立ち、使命、理事長の紹介について

●地域医療構想(東部医療圏)について→りつりん病院の病床機能(回復期病床増加)

●紹介元、紹介先別患者数について

●診療科別患者数について→整形外科、脳外科、外科が多い

3. 地域協議会について（大森院長）

りつりん病院地域協議会設置要綱に基づき説明

4. 前回議事(第12回書面開催)について（日下部事務長）

虫本光徳(高松市医師会)からの院内連携についてのご意見については、体制の見直しによる業務改善が出来ました。併せてのご報告ですが、4月以降の患者様からのご意見が11件ありました。内訳は、職員の接遇 7件 駐車場管理(委託) 1件 清掃(委託) 1件となっています。特に清掃については、委託業者との話し合いで内容改善を行い、次年度からは委託業者変更に繋がりました。お褒めの言葉も2件ありました。今後も頂いたご意見を改善に活かしていきたいと思っています。

5. 概況報告（大森院長）

●令和4年度の体制(執行部、医師、看護師、コメディカル、事務、その他)

●病床構成(令和4年10月以降)

急性期病床 118床 (コロナ確保病床10床(内6床は即応病床))

回復期リハ 37床、地域包括ケア 44床

●COVID-19関連の取組み

・陽性患者受入れ → 平時6階の感染症ゾーン(6床:ファミリー用大部屋を含む)+4床:フェーズ4用)。

・陽性患者トリアージ→第二救急外来を利用。全当直医が担当(眼科、整形外科の時は内科・外科がサポート)

・ワクチン接種 → 延べ17,684回 (R4.10.31現在) 最大700人/日 実施。

・空床補償 → 受け入れ額 R3年度696,205,000円、R4年度339,877,000円(9月末現在)

●機器・設備の整備について

画像サーバーの更新(済)、血管撮影装置の更新(済)、冷房用冷却塔の更新(済)

院内改修・環境整備(第一段階 済) → R4年度 投資枠確保 82,359千円

●課題

・医師確保:香川大学からの常勤医師、常勤相当医師の派遣について継続的に交渉している。特に、消化器内科の再興と麻酔科の存続が重要

・築後54年(最古)の建物:現地建て替えは隘路を進む覚悟が必要(病院前にマンション建設中)。本部の建替え許可を得るため、経営強化、ビジョン(急性期機能+回復期機能を用いて、高度急性期の後方支援と二次救急を行う)が必要。

6. 患者動向・経営状況について（日下部事務長）

●年度別・月別・一日平均患者数（入院）

令和4年度の11月までの一日平均入院患者数は132.3人となり、昨年度と比べ△6.4人と減少し、一昨年度と比べますと△0.3人減少しています。8月のクラスターの影響による患者数戻りが悪くその事が主な要因だと考えられます。

●年度別・月別・一日平均患者数（外来）

令和4年度の11月までの一日平均外来患者数は297.9人となり、昨年度と比べ△16.9人と減少し、一昨年度と比べますと△14.8人減少しています。入院同様にクラスターの影響が主な要因だと考えられます。

●医業収益推移

令和4年度は、令和3年度比較で入院患者数・収益共に7月中旬頃までは改善傾向にありましたが、クラスターの影響などで8月以降大きく下回る状況です。また、健康管理センターにおいては、エコー検査担当の職員の退職の影響による予約数の減少等があり、11月累計では前年度を大きく下回りました。

令和3年度と令和4年度の11月までの累計の比較は、2,420,399千円 ⇒ 2,399,402千円 対前年度△20,997千円となっています。

●医業費用推移

令和4年度は、収益同様7月までは収益に比例し増加傾向、8月はクラスターの影響による医薬品費が大幅に増加しました。また施設機器更新や給与費の増加などもあり令和3年度と令和4年度の11月までの累計の比較は、2,405,979千円 ⇒ 2,514,772千円 対前年度+108,793千円となっています。

●総収支

今年度7月までは累計で△25,107千円と厳しいスタートとなりましたが、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援補助金（新型コロナウイルス感染症患者受入の為に空床補償）の交付により、11月までの累計では241,372千円の黒字に転じています。

（内部委員）収支に影響のある補助金がいままであるのかという事と報道等でも言われていますが、JCHOの余剰金が約640億円あるそうで、厚生労働省から防衛費の財源としてこの余剰金を充てると言われています。報道等が本当の事なら当院でも5億円ほど本部に供託している状況ですので正直、納得できる話では無いと思っています。

（外部委員）来年になるとコロナも2類から5類となって補助金もなくなってくるだろうと思います。その時、経営はどうするのでしょうか。

（内部委員）本部からは、補助金なしで黒字計画を立てるようと言われています。建替えも考えないといけないし、非常に厳しいと思います。

(外部委員) 建替えの話が有りましたが、駅から近い利点を活かして、ぜひ、現地で建替え又はリフォームを進めていただきたい。開業医の立場としても患者さんを紹介しやすい立地条件ですので患者さんは来ると思います。

(内部委員) 駅との間に垣根があって駅に背を向けている状況ですので、駅前を玄関にするなど駅を利用するような事も考えていきます。

(外部委員) 先ほど余剰金の話が有りましたが、外部委員としても防衛費の財源では無く、建替えやリフォーム等に使われるべきお金だと思います。

7. 院内クラスターについて (大森院長)

●当院の新型コロナウイルス感染症の受け入れ体制

(入院) 新型コロナウイルス感染症を疑う患者受け入れの為、南6の一角を陰圧室等にリフォーム→陽性患者6名収容可能(家族内発症に対応)

(外来) 本館外来棟の一角を第2救急外来にリフォーム→救急隊に周知し、救急患者数減に対策。第2救外前室は発熱外来検体採取室としても整備

●新型コロナウイルス感染症の新規発症の推移

8/6に急性期病棟3Fの患者が2名発症。8/14の最大9人発症、8/22の最後の発症まで、延べ51名が発症した。

●アウトブレイク前後の患者数推移

8/12から入院制限、8/19には陽性患者は47名でピーク、非コロナは8/20に最小63名になり、終息宣言の翌日、受入れ再開日9/3に患者総数が88名まで減少。

●アウトブレイク後の在院患者数の推移と月次決算

8/12から受入れ再開日の9/3の88名まで患者総数が減少。受入れ再開後も120名程度で停滞。11月になって回復傾向。月次決算は、対前年同月比で、8、9、10月はいずれも大きく減少。8月は補償金の入金タイミングにより、対前年▲1,400万でとどまったが、医療利益は対前年で▲5,800万円。

現在は、入院患者が160人を超えている状況ですので、補助金なしで11月は黒字、恐らく12月も補助金なしで黒字となると思います。

(外部委員) 今は、コロナ患者は何人入っていますか。

(内部委員) 確保病床10床で8人入っています。二次輪番からの受入れは1名としています。

8. その他意見等

※ご意見①

(内部委員) 自分の患者でも最寄りの駅まで距離があっても降りたらすぐの病院と言うことで結構、駅を利用している人が多いと思います。やはり、この現地で建替え等を進めて行くべきだと思います。

(外部委員) 駅が近い病院であるからこそ、特にお年寄りには、かなりのニーズがあると思います。ぜひ現地で考えて貰えたらと思います。

※ご意見②

(外部委員) 紹介する際に大きい病院になると「何科に紹介ですか」と聞かれますけど、正直、何科に紹介したら良いか分からないので相談したいのに出来ない。出来れば総合的に診られる先生がいると紹介しやすいです。

(内部委員) 消化器医師が2年後には増える予定ですので、色々、経験してもらって総合的に診られるような医師になって貰えたらと思っています。

※ご意見③

(外部委員) 救急医療、二次輪番病院として受入れ感謝いたします。コロナに関してもトリアージやファミリーで入れる入院環境を作ってくれて助かっています。引き続きご協力お願いします。

(内部委員) 保健所とはコロナ関係で蜜に関係を構築できたと思います。引き続きよろしく願いいたします。

※ご意見④

(外部委員) 私はこの地区に住んでおりますが、利用者の立場からは、非常に利用しやすく、紹介状もなくとも気軽に診ていただける必要な病院です。建替えの話がありましたが、他の場所ではなく、此处に有るメリットを活かして、ぜひこの場所で継続して頂きたいと思っています。

(外部委員) 余剰金の話ですが、目的が有って積み立てるものですので、決して余剰金だからと言って防衛費に充てられるものではないと思います。

(内部委員) 理事長は、必ず、死守すると言っていますので、信じるしかありません。

本日は、貴重な意見ありがとうございました。